



## 第101回 私のスケッチブック

### 「コートダジュールの鷲の巣村」

サンポール・ド・ヴァンス／南フランス

初めてこの地を訪れた時は珍しくヴァカンスでした。その為、スケッチブックをそのまま放置して、この作品は十数年も発表する機会すらなくお蔵入り。

ニースから車で一時間弱の手頃な観光コースで、私が訪れていた時には既にサンポール・ド・ヴァンスと呼ばれていました。その理由は、この村の近所にも一つ有名な村でヴァンスがあり、名称を区別する為に敢えてこの名前を使用していたと思います。

この村は城郭都市で山の頂上に鷲が巣を作る様な険しい村であったと記憶しています。駐車場から城門に続く道沿いに一軒のCaféがあり、何と…イブ・モンタンが営んでいたとの話に驚きます。城門をくぐると16世紀の中世の趣がそのままの姿で佇んでいます。素朴で狭いメイン通りを散策すると現代アーティスト達のアトリエが軒を連ね、絵画・ファッション小物・アクセサリーなどのギャラリーがお洒落で素敵なディスプレイと共に

楽しませてくれます。

石畳の小路もモザイク調の花模様で作られていますからウツトリ。散策を続けるとサン・クレマン・チャペルと云う自然に祈りたくなるような素朴で簡素な教会に出遭います。この教会で日本の有名な女子アナが、フランス人実業家と結婚式を挙げた話は結構知られたエピソード。

そして19世紀に多くの芸術家達がこの村に集まり、ジャンニク・デュフィ・スーチン等がキャンヴァスを広げて制作に勤めます。極め付きはジャガールで20年間に渡ってこの村で絵筆をとり続け、この地に葬られています。

1943年にアンリ・マチスがヴァンスに別荘を構え、マチスの礼拝堂と呼ばれるロザール教会の内装を手掛けます。ステンドグラスの美しさと率直な筆致に絵画の神髄を味わえます。



延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。

「第70回 全国カレンダー展」に11度目の入選を果たし、その実力を発揮する。

<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索